

二月二十日の多喜二墓前祭で献花する(小樽市)



No.393

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
Eメール chian@plum.plala.or.jp
電話 03 5842 6461
FAX 03 5842 6462
http://www17.plala.or.jp/chian
定価 50円

改憲の道は国民との矛盾を広げる 地方選勝利を国賠署名とともに

主 な 記 事

中央本部組織・財政部会開く	2
多喜二祭など各地で多彩な取り組み	3
顕彰碑探訪/プロレタリア歌人・渡辺順三	4
時の焦点/3・15と4・16大弾圧	5
抵抗の群像/田中策三の生涯	5
同盟歌壇/碓田のぼる選	6
書棚/「聖断」の虚構と昭和天皇」 瀧澤厚著	7

通常国会で、安倍内閣の反動的姿勢がいつそう浮き彫りになりつつあります。

第一に、歴代内閣で、教育大改悪に続き、憲法九条を改廃して「海外に出兵して戦争できる国」づくりを、正面から国民につぎつけたのは安倍内閣が初めてという反動性。

第二に、大企業には減税を、国民には大増税を押しつける一方、米軍再編にもなうぼう大な費用負担とともに、「自衛軍」創設を射程に入れた軍事費増と消費税増税をプログラムに入れていくこと。

第三に、国民の貧困と格差をいつそう拡大する「構造改革」路線を押し進め、福祉切り捨てなど住民本位であるべき地方自治体を破壊して「開発事業下請け」の自治体に変え、国の有事法制下に置こうとしていること。

これらの経過をみると、当面する改憲手続き法でも、投票率無視の有効投票数の過半数で決めるとか、公務員、教員の運動は罰するとか、また国家安全保障会議創設と軍事機密保護の強化、共謀罪創設など、人権抑圧の政治が露骨にすすめられていることです。安倍内閣の支持率低下は当然です。

九条改廃のたくらみが、戦争と暗黒政治への道に通じることは火を見るよりも明らかではないでしょうか。

貧困化と闘う労働者・労働組合の春闘とともに、改憲阻止と国賠署名の協同を広げ、地方選戦勝利への展望を切り開きましょ。

いつせい地方選と結んで 50万署名の本格的推進を

中央本部は、新春理事会で決定された諸方針を促進するため、二月一日、中央本部から神戸会長代行はじめ三名、八つのブロックから計一三名の担当者が参加して組織・財政部会を開きました。

そこでは、正式に決定した五月一日の国会請願行動に向け、五〇万署名運動を本格的に強めていくこと。そのためには、選挙を真剣に取り組む中で創意をもって署名運動を独自に推進することが大切(島根)。大演説会に向けた送迎バスの中で署名を回して大量の署名を集めた。予算も組んで新聞折込みも計画(福岡)など、選挙の時期をチャンスとしてとらえ、創意ある活動を展開すれば、人との接触が増える時期だけに、署名目標は達成できることが語られました。

一万六千人会員達成を

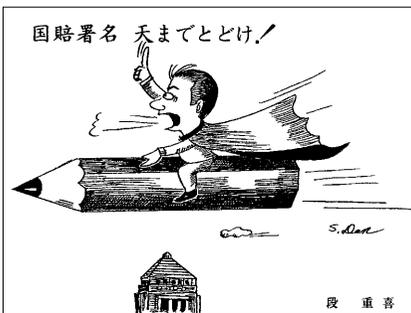
会員拡大では、「改憲内閣」のもと九月に開かれる大会成功のためには、一万六千人の同盟建設が重要であることが確認され、会員が高齢で亡くなる例も少なくなく、毎月目標をもって会員拡大に取り組めば必ず前進する(大阪)。「目標達成まであと数名となつているが止まっている。今度は達成する(愛知)など決意もだされ、そのために『不屈』の宣伝紙や近く完成する新「入会申込書」も活用して会員拡大を意識的に取り組むことが確認されました。

会費一〇〇%納入を

財政問題では、同盟収入の五割以上を占め、会員との結びつきを強める同盟会費の重要性をあらた

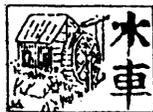
国会請願決る

五月十五日(火)午前11時〜15時半
衆院第一議員会館第一会議室



「不屈」兵庫県版より

めて確認し、三月末の期末までに同盟会費一〇〇%をめざして未納会員への働きかけを強めることが強調され、そのためには、四月一日時点での会員数を基準に夫婦会員、減免者などの報告を求める必要があるなどの意見も出されました。また、この間、徹底してメスを入れ百万もあつた印刷業者への未払いを解決した(長野)など、県段階の財政状況も出され、中央・県ともに財政強化の必要性が話されました。最後に、これらの活動を進めるために、支部の建て直しを含めた支部建設、支部の活動強化が重要になっていることが交流されました。



イラクのテロが止まらない。イラク政府の発表によると昨年一年間のイラク人の死者は一万六、二七

三人、うち一万四、二九八人(88%)が一般市民という。米軍侵攻後累計一五万人が死亡したとも公表。だがこの数字はかなり抑えられたものようだ。イギリスの医学雑誌「ランセット」は六五万四、九六五人が犠牲になつたと報じている。一昨年、抗米救国戦争勝利30周年に沸くベトナムを訪ねた。ホーチミン市の戦争証跡博物館の展示で、ベトナム側の死者は民間人二〇〇万人、解放軍兵士一〇万人。この他に枯葉剤の後遺症に苦しむ被害者が三〇〇万人。ここでも民間人の犠牲の多さに驚いた。旧解放軍の幹部だった人にベトナム戦争勝利の要因を聞いた。曰く「第一は人民を正しく指導する政党の存在、第二は『自由と独立ほど尊いものはない』というホー・チ・ミンの教え、第三は人民の団結、第四に世界人民の支援」をあげた。イラクの悲劇の奥は深い。

(佐)

多喜二祭、3・15弾圧記念、墓前祭など 各地で多彩な取りくみ

多喜二祭、3・15、4・16弾圧記念などの時期、例年行事として同盟の主催・共催による多彩な催しが各地で取り組まれていきます。「不屈」県版や通信から、すでに開催された所、あるいは準備中の所など、ご紹介します。

●北海道

2月11日 西田信春を顕彰する碑前祭。新十津川町の顕彰碑前で開催、約四〇人が参加。献花して西田の業績を偲び、地方選、参院選勝利を誓い合う。

2月16日 釧路・多喜二祭。講演「啄木と多喜二」・倉田稔(小樽商大教授)

2月19日 「野呂栄太郎没後七三周年墓前祭」、札幌市平岸霊園で開催。二〇人が追悼、一トリの積雪から掘り出された墓石を前に合掌。
2月20日 作家小林多喜二虐殺から七四年、小樽で恒例の墓前祭。約百人が集い、夜の「多喜二を偲

ぶ記念の夕」には二百三十余人余が参加。独唱と合唱、記念講演「多喜二は現代に何を語るか」(文芸評論家・澤田章子)に参加者から感動と大きな拍手が送られた。

3月10日 「三・一五」大弾圧事件七九周年記念集会。守屋敬正国民救援会道本部会長講演「ピラ配布・言論弾圧をのりこえて」、宮田汎同盟事務局次長のスライドと講演「磯野小作・小樽港湾争議80年」と3・15事件」。

3月15日 3・15記念講演。室蘭

●秋田県

2月17日 「第42回秋田県多喜二祭」秋田市大町ビルで開催。「小林多喜二と伊藤千代子」講師・東

栄蔵(日本文芸家協会・島崎藤村学会)、藤田廣登(労教協理事)、歌・中村洋子、合唱、展示。会場には百七十人が参加。秋田合唱団のオーブニング演奏で開幕。多喜二作『東俱知安行』の作品朗読に

続いて多喜二祭賞の発表が行われ、近江谷昭二郎著『不屈の群像 社会進歩をめざした人々とその時代』が授賞。近江谷氏は戦前、反戦平和、国民主権を掲げた先輩たちの歴史を語ることが再び戦争と暗黒政治を許さない確かな力になる。命ある限り不屈の歴史を語り続けたい」とお礼を述べた。

●岩手県

3月15日 「春の鶴彬(つるあきら)の集い」。会場・盛岡市名須川町 鶴彬の墓前(本誓寺)。

●埼玉県

3月7日 「治安維持法とたたかつた庄子銀助さんの生涯 快拳、獄中より立候補、町議に当選(一九三三年)」講師・永田秋幸(同盟県本部常任理事)、開催地・さいたま市浦和。同盟全国女性交流集会報告「しなやかに、たおやかに活動する女性たち」報告・森田君子。

●東京都

2月16日 第19回多喜二祭(杉並

・中野・渋谷)コース「多喜二の時代のつた」、あいさつ・能島竜三(実行委員会会長)。青年ミニトーク・現在と多喜二を語る。朗読・矢野宣「一九二八年三月五日」。日本民主主義文学会あいさつ・作家山形暁子。ピアノ演奏・村上弦一郎。記念講演「多喜二が愛した映画の心」山田和夫(映画評論家)。参加者三五〇人。

5月下旬 「東京の解放運動犠牲者の碑めぐりツアー」。青山墓地「無名戦士の墓」。小林多喜二が母と最後に会ったパーラー、伊藤ふじ子と住んだ麻布十番地域と

寺の一室。野呂栄太郎の分骨を納めた碑を建てた夫人塩沢富美子家の墓所・長谷寺。「亀戸事件犠牲者之碑」などを企画。

●神奈川県

1月30日 同盟県本部女性部主催の歴史探訪「鎌倉東慶寺(駆け込み寺)・荻田アサノ墓前ツアー」。十七人で参加。戦前荻田アサノが宮本百合子らと知り合い、非法下の日本共産党を助けて検挙・拷問を受け、戦後岡山から立候補、

衆院議員として活躍した生涯を学び、二大選挙戦での平和・革新勢力の前進を誓い合う。

2月12日 七沢「多喜二祭」、伊勢原文化会館、「スライド・小林多喜二と小樽」、講演「小林多喜二がめざした文学」相原進、合唱、映画「武器なき闘い」、二百人。

2月12日 2・11「建国の日」に反対する県民の集い「同盟共催・横浜、講演「改憲手続き法案のねらいを衝く」講師・渡辺治(一橋大教授)、二百人参加。

●長野県

毎年二・三月に2・4弾圧事件記念集会を開催。長野山宣会(山本宣治記念祭)も同時期に開催している。

2月21日 「歴史に学び憲法9条を守る」講師・吉岡吉典、約八〇人参加、長野市。

3月3日 「2・4弾圧事件に学ぶ安曇野集会」、安曇野市。

3月11日 長野山宣会第36回総会。記念講演・小林陽一、上田市で開催予定。

●岐阜県

3月10日 「郷土の労働運動の先覚者 山本誠一氏春墓忌」。土岐市駄知町南山墓地において開催予定。第一部・墓前祭。第二部・法要、慰労交流会。同盟東濃西支部主催。

●静岡県

3月24日 映画「日本の青空」、「日本国憲法」。講演「鈴木安蔵教授の故郷相馬と戦前戦後の歩み」平田良(静岡法経短大教授)。

●京都府

1月20日 「憲法9条は世界の宝 改憲策動を打ち破って平和日本を」講師・渡辺久丸(島根大学教授)。

3月5日 宇治・山本宣治墓前祭。昨年は三重県本部から三八人参加、大阪、長野などからも参加。3月19日 国領五一郎墓前祭。左京区黒谷墓地。

●和歌山県

2月27日 「3・15、4・16大弾

圧記念のつどい」、和歌山市あいあいセンター、講演「歴史認識を問いつけよう」柳河瀬精(同盟大阪府本部会長)。ビデオ「黙ってはいられない」上映。

●大阪府

2月17日 アピオ大阪で開催、三十数年ぶりの「大阪多喜二祭」、雨の中二四五人参加。ピアノ弾き語り、作品朗読、記念講演「ラプシンの達人・小林多喜二」島村輝(女子美大・大学院教授)、多喜二の文獻・資料展など。「来年も継続してほしい」の声が多く、「多喜二の火を継ぐ」意志を固め合つた。今回の準備では、実行委員会

が五回の「多喜二サロン(前夜祭)」をもち、多喜二の生き方や文学を学び大いにもりあがった。多喜二の豊かな人権感覚と憲法へのつながり



の展開に多くの人から「感動した」の声が寄せられている。

●兵庫県

2月17日 多喜二・百合子の会、神戸市で、小林多喜二を語る会開催。講演「治安維持法と現代」佐藤陽三(同盟県本部会長)は、戦後の補償が戦争にかりたてた悪玉の顕彰であり、虐殺された多喜二はじめ治安維持法犠牲者、中国人強制連行らへの補償ではなかった。元兵庫県知事金井広彦、坂井将忠も特高警察指揮者であったと語り、山口哲臣氏(民主主義文学神戸支部長)は、多喜二が描いた「不在地主」と今の大銀行吸収合併と類似しているなど話された。

●福岡県

2月11日 西田信春墓前祭。朝、香椎駅から三日月霊園へ。共同墓地の物故者之霊前に献花、船越県本部会長から西田が党中央から福岡に派遣、虐殺されたことを紹介、筑後支部、福岡支部の発言などのうち、十二時に散会。十二人が参加された。

顕彰碑

||||| 感動

ひとときを／心呆けてゐしわれか
手を動かせば手に手錠あり

プロレタリア歌人 渡辺順三

渡辺順三は、一九二九年にプロレタリア歌人同盟を結成した時から、プロレタリア短歌を牽引してきただけでなく、たえず代表者となってきた。治安維持法違反で二度検挙・投獄されています。

作品は戦後になってすぐに発行された『新しき日』という歌集に収められているものです。他に、『われはきたなき労働者なり／むすめ！／むすめ！／顔をそむけよ』この一夜／遠くロシアの革命に

／心馳せて友と語れる
などが口誦されてきました。

生まれは、一八九四年で、富山の出身です。早くから文学に親しみ、父の死後上京して家具屋の小僧をしながら勉強をし、二十歳のころから短歌を始め、窪田空穂に師事していますが、それは空穂の民衆短歌に共鳴したからでしょう。戦後は「新日本歌人協会」の代表を最後まで務めました。

著書は多く、なかでも『近代短歌史』上・下は現在も歌壇の役割を論ずるときは、規矩としての役割を果たしています。私は亡くなる前に二度代々木病院で会っています。とても小柄でいかにも学者風という感じでした。小さな声で話してくれました。自分の経歴は、強かったからではなく、そんな運命の中にいただけなのです。と語っていたのが印象的でした。

小木 宏（現代歌人協会会員）



- 二月十九日 野呂栄太郎獄死
- 二月二十日 小林多喜二虐殺
- 三月五日 山本宣治暗殺
- 三月十五日 三・一五大弾圧事件
- 三月十五日 市川正一獄死
- 四月十六日 四・一六大弾圧事件

梅・桃・桜・菜の花そしてつじと咲き乱れる春の到来ですが、同盟運動にとつてはきわめて重たい季節。三・一五と四・

時の焦点

一六弾圧事件は同盟運動の原点。毎年そこに立ち戻つての歴史の追憶は貴重です。

一九二八年三月十五

日未明、全国いっせいに日本共産党員と協力者への大弾圧が強行され、千六百名もの活動家が逮捕されました。その前月の第一回普通選挙で、

3.15と4.16大弾圧

約五〇万の得票で労働党山本宣治はじめ八名の無産政党员が当選。三・一五大弾圧はその将来の成長、発展をおそれた田中義一内閣による権力犯罪でした。特高警察の指揮のもと、「天皇の警察官として超法規的措置」としておこなつ

た暴虐な拷問や陵辱の実態は、その年の夏小林多喜二が作品『一九二八年三月十五日』で、翌年二月山本宣治が帝国議会での質問演説でそれぞれ綿密に調査して国民の前に明らかにしました。

天皇制政府は治安維持法を死刑法に勅令で改悪し、特高警察を全国に配置して弾圧体制を強化、翌二九年四月十六日ふたたび大弾圧を強行。四・一六では検挙者約一千名。市川正一、上田茂樹はじめ福本和夫、三田村四郎、鍋山貞親、佐野学など、当時の共産党の主要な幹部が根こそぎ逮捕されたのが特徴です。職場組織も陸海軍の工場や印刷局、鉄道などの官庁細胞や芝浦製作所、石川島造船所、共同印刷などの拠点が襲撃されました。

この弾圧事件で八二五名も起訴された日本共産党でしたが、不屈にも獄内外連繫して市川正一を中心に公判闘争を展開、歴史の真実を堂々と説き明かしました。四・一六から二年後、『十五年戦争』が開始され、「反共は戦争前夜」との痛苦の教訓を遺しました。(二頁)

抵抗の群像



六回の検挙・二回の投獄

波乱の道を歩んだ

田中策三の生涯

田中策三は貧しい鉄道線路工夫の二男として一九〇二(明治35)年群馬県碓井町で生まれた。小学校入学前に一年生の本を読了したという秀才児で、六年卒業時には全校総代に選ばれ、高等科も主席で卒業。小学三年の夏、父が四九歳で他界、母は行商で四人の子供を育てたが、無理がたたり九年後に父の後を追うように亡くなった。虚弱児だった田中少年も行商、呉服店の小僧などをした。一九二一年上京して苦学、千住町役場に勤務、日大社会科学部に入学した。

二五年二月十一日、治安維持法制定反対集会に参加、初めてデモ行進をした。「非常に勇気のあること」で私の一生にとって画期的できごと」と田中は述べている。三・一五、四・一六事件のあと解放

運動犠牲者救援会江東支部で活動するようになった。この年の九月洲崎署に検挙された。

入党、弟の獄死

一九三〇年ごろからモップル、全協の機関紙部、アジプロ部員として活動、三三年四月に日本共産党に入党。翌五月逮捕、治安維持法違反で起訴され市ヶ谷刑務所に収容、三五年一〇月、懲役二年執行猶予二年の判決で釈放された。

その前年、共に活動していた弟武男も検挙され釈放後三八年中国東北部で憲兵隊に再び検挙、投獄された。四三年弟危篤の知らせを受け、奉天の第二監獄で「生ける屍」の如き武男の身柄を引きとつたが三日後に死んだ。獄死である。田中は「三九歳九カ月の弟の命を

奪った敵階級を憎む。弟を返せと心から叫ぶ」と記している。

田中も一九四一年二月九日、太平洋戦争開始の翌朝、非常措置令で逮捕(全国で三千人)され一年間留置。治安維持法の荒れ狂う戦中、六回検挙拘留、二回投獄された。竹刀や木刀で力いっぱいぶつ叩く、気絶するとバケツで水、両足は血管が破れて股から脛まで皮下出血で青黒くはれあがり、膝ぼつぼつが見えなかつたと残酷な拷問の実態を語っている。

「策さん」と慕われ

田中の戦後の活躍は実に目覚ましい。地区労グループ、党北陸地方委員、向議長、長野県委員・委員長などを歴任、第八回党大会で中央委員となり、党の統一、綱領確定、党勢拡大の飛躍的前進、林百郎代議士当選などに心血を注いだ。

また民主診療所、民医連、民主商工会など大衆組織の拡大強化にも力をつくした。党幹部を引退後も国賠同盟の創設に加わり、県支部・本部会長、山宣碑再建と長野山宣会、長野県解放運動戦士顕彰

碑建立、治維法と長野県、思想犯鳥流し事件の調査と記録の出版など、その功績は大きく、今に引きつがれているが、語りつくせない。こうした田中の活動歴にも拘らず、その人柄は温厚で誰からも信頼、尊敬され「策さん」の愛称で慕われてきた。一九九〇年、田中の米寿を祝う会に県内外から百人をこす仲間が参加した。この席で

「虚弱児といわれた私がこの年までこれたのは、①両親のおかげ ②皆さんを含めた多くの良き先輩、友人に恵まれた ③日本共産党に入党できたこと。この時の感動は忘れられない」とのべたあと「共産主義者には老後とか余生はない。生きている限りは日本革命のために働く」とお礼のあいさつをしめくくつた。「策さん」の面目躍如である。

友人の一人、吉岡よしは

治維法に命をかけし君いつも笑顔絶やさず未来を語る

と読んだ。
二〇〇二年九月一四日、百歳四ヶ月の生涯を終えた。

(長野県本部 米山順夫)

同盟歌壇

穂田のぼる選

京都府 須山 稔

アレン・ネルソンの戦場体験を聞くつどい憲法九条への想い滾りく

〔評〕アレン・ネルソンは元米海兵隊員。人間が人間でなくなつていく戦争の地獄のさまを語つたのであろう。九条の重要さを作者はひしひしと感じている。

岐阜県 和田 昌三

町祭りに護憲訴つ御輿吊ると決めて今宵の九條の会終ゆ

〔評〕この歌を読んでみると、九条の会が草の根となつてひろがつていく様子が実感できる。護憲御輿がきまつた安心感である。

和歌山県 中平 喜祥

平均余命過ぎたれば手術はしないと書いて出で行く医師を見送る

〔評〕手術をしないと医者に言われた時の作者の心情表現は、ごくごく控え目ながら結句ににじんんでいる。残念とも安堵とも。

静岡県 江川 佐一

玉葱の茎を鎌にて切りながら畑やさしく党を称える

〔評〕農事をしながら畑が党のことをほめてくれていて。それが作者を喜ばせている。「やさしく党を称える」には作者の思いも。

新潟県 加茂川ハル子

雪のなき一月無気味と思いつつ青空見上げ深呼吸する

〔評〕雪国にとつて、雪のないことはまさに無気味としか言いようがない。暖冬異変は、地球の未来も無気味さで覆ってくる。

東京都 山崎 元

春を待つ心にも似て極東の非核化ねがうヒロシマの民

〔評〕六か国協議の動向なども念頭においての作歌であらう。非核地帯をまずは極東にという願いを、春待つ心にたとえている。

書棚

『聖断』の虚構と昭和天皇

瀬戸 厚著

新日本出版社刊 本体二二〇〇円

敗戦から六十年余のいま、天皇「終戦工作」第三章「聖断」の「聖断」が国民と国土を破滅から救い、それが戦後復興の原動力ともなった、という「神話」を多くの人々が信じさせられ、「八月十五日」のマスコミ報道は、「平和主義者昭和天皇」像をますます定着させているように思える。

本書は、それらのすべてが史実とはまったく逆であったという歴史の真実を明らかにしようとする。近衛、木戸、東条、鈴木貫高木（惣）ら支配層や軍部指導者の言質と天皇の動揺と意思決定との関係を、資料を深くよみ解きながら、「天皇の継戦意思と不決断が、さらなる戦争犠牲者を生み出す結果となった」事実と、それらが「戦前の天皇制国家の性格をも問うことになる」という、事の本质に迫ろうとする。

私的回想だが、「八月十五日」にいたる約一年間、勤労動員と空襲下の生活に明け暮れて、日々深まる絶望と閉塞感にさいなまれて過した当時と、その時期の支配層の動きを重ね合わせて読みながら、何ともやり切れない思いと、彼らの完全な国民無視と「国体護持」に汲々としていた正体に改めてつよい憤りを感じずにはいられなかった。

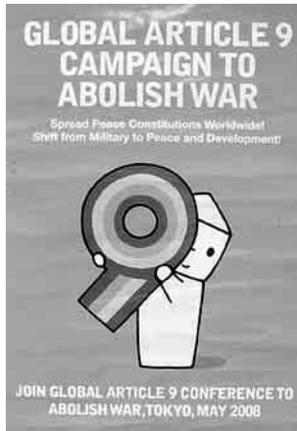
戦後の「資料で昭和天皇の戦争責任あるいは指導者責任が緩和あるいは相対化されていくことは、それこそが歴史事実の隠蔽と歪曲」との著者の指摘と問題意識をぜひ汲みとりたいものだ。（巽）

二〇〇八年五月に

「9条世界会議」準備すすむ

戦争を放棄し「武力によらず平和をつくる」と定めた日本国憲法9条を世界に広げるために二〇〇八年五月、「9条世界会議」(東京をはじめとする全国数カ所で開催)の日本実行委員会が去る一月二十九日発足しました。

すでにノーベル平和賞受賞者のジョーディ・ウィリアムズさん(地雷廃絶世界キャンペーン)の来日が決まっており、シリル・エバディさん(イラン)、ワンガリ・マタータイさん(ケニア)等のノーベル平和賞受賞者や、多くの平和人権活動団体から関心と共感の声を寄せられています。



「9条世界会議」ポスター

日本側の呼びかけ人は浅井基文さん(広島平和研究所所長)をはじめ現在二十八名、第一回実行委員会には国賠同盟、日本国際法法律家協会、国際人権活動日本委員会も参加。一万人規模の集会成功をめざしています。

2月22日 安保放棄実行委員会代表者会議

2月23日 国際女性デー中央大会 第4回実行委員会

2月23日 東京女性部「春を呼ぶつどい」

図書・マンガ「蟹工船」(六〇〇円) 本部取り扱いについて

このたび出版元・白樺ライブラリーとの交渉で左記の条件で本部で取り扱うことになりました。安価で、三分で読めます。若い人たちには是非普及してください。 領布価格 五四〇円

送料は本部負担のため注文は一〇冊以上

〇冊以上
でおねが
いいたし
ます。



【訂正とお詫び】

二月号四頁、長野・米山順夫氏の発言「治安維持法と現代」の普及百七冊は百七〇冊の誤りです。中央本部Eメールに誤植がありました。左記に訂正して下さい。

chian@plum.plala.or.jp

事務局日誌

2月1日 国際女性デー中央大会 第3回実行委員会

2月7日 安保放棄実行委員会

2月13日 「不屈」編集会議

2月14日 規約検討委員会

2月15日 国際人権活動日本委員会代表者会議

2月15日 中央組織・財政部会議

2月16日 東京多喜二祭

2月19日 3・18実行委員会

●特集「教育基本法改悪を問う」

『治安維持法と現代』

2006年秋季号 好評発売中

【主な内容】「教育基本法の改悪は何をねらうか」=藤田昌士、「政府の教基法案の全体的な問題点」=俵義文、「自然科学者の目から見た教基法改悪」=松川康夫など三氏が教基本改悪の問題点を詳述。治安維持法弾圧事件関連諸論文。「戦後補償問題のなかで同盟運動の先駆性を考える」論文も、学習に好適です。

A 5版176頁・定価1000円、送料210円。各都道府県本部でお求めを。



企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟